

目標達成計画

作成日：平成30年8月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	実践しているケア内容が家族様に伝わっていない所がある。	<ul style="list-style-type: none"> 排泄に関するケアについて、介護計画書説明時に詳細内容を共有。 個別性のあるケア内容を伝えることができる。画一的な内容にならないよう確認。 文章において抽象的な表現では無く、具体的な場面想定できる(関わった内容)内容を記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①介護計画書作成時の確認項目に具体的支援内容を互いに確認する。 ②個別支援を検討できるフロア会議にて、具体的なケアの展開方法を話し合い、共有。 ③ケース記録にて、関わった事柄を事実として記載。記録に際して勉強会を行い学ぶ機会を設ける。 	12ヶ月
2	3	運営推進会議の議事録を家族様様(個人情報)に変更して配布。事業所の取り組み等、知って頂き、共有を図ることが必要。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議での取決め事項等を共有できる。 家族からの要望に対する返答等が可能。(問われた事に対して進捗状況を報告できる) ※現在、家族懇親会にて意見等は返答している状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ①運営推進会議議事録を家族様に配布。(個人情報等に留意) ②家族会、第三者評価、意見箱等で上がった事に対して進捗状況を発信する。 	3ヶ月
3	2	事業所と地域とつきあいにおいて、地域拠点となる必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々の協力を頂きながら、地域における社会資源の一つとしての定着を目標にする。 事業所発信の活動を増やして行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ①定期的に開催する「ふれあい喫茶」の案内を民生員、区長等を通じて地域発信を継続して行く。このような機会の中で認知症などの情報発信を行い事業所として発信できることを検討して進めて行く。 	12ヶ月
4	49	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられる支援が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 入居者のADLや個人の想いも違い、個別対応の工夫をして行く。 家族様の協力を含め「利用者の思いに沿った外出支援」の継続を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①状態、ニーズ把握を日々の生活支援で汲み取る。情報をフロア会議にて共有、介護計画書に反映、ケアに繋げる。 ②出来ることからの支援を検討して行く。出来る限り希望に沿えるように家族様、地域などフォーマル部分を視野に入れて行動する。 	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。